

問 私の調査では
1,600万円が収入不足

答 額は未確定だが
警察に届を提出している



宍粟市議会
日本共産党議員団代表
岡前 治生

問

山崎浄苑のし尿汲取り手数料から換算した汲取り量と実際の汲取り量が合わない問題は、金額に換算すると15年度分が444万円、16年度分が372万円、17年度分が796万円で合計1,600万円を超える公費が収入不足になっているという結果です。市長はこの問題を前回の同僚議員にされたようないまいな答弁で終わらせようとしていたのか。

市長

警察にも届を出している。可能な限り原因等の調査確認を行う。

問

「宍粟市防災計画」によると「山崎断層帯地震」の想定規模はマグニチュード7.7、被害想定は、宍粟市では木造建物全壊数893棟などです。音声告知装置はこのような災害時

こそ必要な災害情報を確実に伝える必要があります。そのためには光ケーブルより、コミュニティFM放送を開設し、災害に強い音声告知放送システムの構築を山崎町の中心部では進めるべきであると思いますが。

市長

光ファイバーは同軸ケーブルに比べ強度があり災害時に強い。ケーブルでなければ自治会放送などの機能がありません。

問

庄能上牧谷バイパスは、幅員14m、3.5mの歩道が両側にある延長440mの総事業費11億円の大型事業です。道路交通センサスでは、平成11年度と17年度を比較しても県道内海山崎線の今宿で、2.8%しか伸びておりません。これが、2020年度にとっても5,700台に

なるとは思えません。

市長

住宅等の増加により将来的に交通量も増加することが考えられることから見直しの考えはありません。

問

世界で食糧・穀物が不足し高騰しています。輸入にたよっている日本では、食料品の値上げで家計を圧迫しています。米は年間77万トン輸入しながら減反が強制されています。米農家の労働報酬は時給256円で、価格補償、所得補償を行い、自由に米の生産にとりくめる政策に転換すべきです。

市長

国では自給率45%をめざし、遊休地の調査、産地づくり交付金の対策がとられています。



し尿処理施設

問

消防団員は地域の担い手であり、統合では現団員数を維持すべきです。分団は地域の習慣や文化でもつながっています。機械的な再編・統合はすべきではない。

副市長

現団員数2千人は守り、分団の再編については自治会とも協議をしながら調整していきます。